

1. 件名：特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合に係る面談
2. 日時：令和5年6月29日（木）13:00～15:00
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

大辻室長補佐、石井係長、高橋係員、元嶋専門職

澁谷調査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

燃料デブリ取り出しプログラム部 7名

廃棄物対策プログラム部 2名

プロジェクトマネジメント室 3名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、今回の特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（以下「技術会合」という。）の議題について主に以下について説明を受けた。
  - ✓ 低レベルのコンクリート等廃棄物について、技術会合で示された論点に対する性状把握と管理の考え方
  - ✓ 1号機PCV内ペDESTALの状況を踏まえた対応状況
- 原子力規制庁は、上記の説明を踏まえ、東京電力に対し、技術会合に向けて資料の内容を充実させることを求めるとともに、以下の内容を指示した。
  - ✓ 低レベルのコンクリート等廃棄物について、現況の当該廃棄物の物量・種別・汚染状況等と今後の分析の計画とを紐付け、分析の優先順位や妥当性、今後目指すとしている放射能濃度管理への移行のスケジュールが議論できるよう説明の内容を整理すること。
  - ✓ 1号機PCV内ペDESTALの支持機能喪失時のダスト飛散抑制のための窒素封入停止策について、対応を発動させる際のトリガー等をより具体化した説明を行うこと。
  - ✓ 本年6月15日の面談において指示した、ペDESTALの支持機能喪失時のRPV、PCVへの構造上の影響については、今回の技術会合で検討に要する期間を示すこと。
- 東京電力から、原子力規制庁からのコメントについて検討の上、技術会合に向けて必要な対応を行っていく旨回答があった。

## 6. 資料

- ALPS スラリー及び低レベルコンクリート等廃棄物の対応方針
- 1号機 PCV 内ペDESTALの状況を踏まえた対応状況（コメント回答）